

## 会議概要

日時：令和 7 年 10 月 28 日（火）午後 2 時

場所：前橋市役所本庁舎 3 階 31 会議室

目的：第 3 次前橋市地域福祉計画素案に関する意見交換

### Chap.1 に関する意見

- アンケート回答者は高齢層が多く、若年層の意見も反映されていることを明記すべき。
- 基本理念の策定過程が分かりづらく、「笑顔」のキーワードの由来も説明が必要。
- ワーキンググループの活動内容が簡略すぎて伝わりにくい。
- アンケート結果は「増減」より「多い回答」に注目すべき。
- グラフは棒グラフで比較しやすくする工夫が必要。
- 市民ワークショップの開催背景や目的を明記すべき。
- 回答項目の順序は多い順が望ましい。
- 介護に関する回答が少ないが、実態との整合性を取る必要あり。
- 地域福祉は行政の責任であることを明記すべき。
- 外国人支援の視点も計画に盛り込むべき。

### Chap.2 に関する意見

- 学校教育との連携を計画に明記すべき。
- SDGs の記載位置や主体の並び順に意味を持たせるべき。
- 地区社協と町社協の違いを説明し、圏域の整合性を図る必要あり。
- 策定体制を図示することで分かりやすくする。
- コミュニティスクールや学校教育も福祉に関与していることを明記。

### Chap.3 に関する意見

- 「人づくり」の定義を明確にし、子どもの意見を聞く姿勢を育てる必要あり。

- 行政が仕組みづくりの中心であることを明記すべき。
- デジタル関連用語の使い分け（スマートフォンと SNS など）を整理。
- 地区ごとの将来像やビフォーアフターの提示があると分かりやすい。
- 地域福祉活動計画との整合性を検討する必要がある。
- 人材不足や高齢化による担い手の減少への配慮が必要。
- 成年後見制度の課題も踏まえた記載が望ましい。

## Chap.4 に関する意見

- Chap.3 と Chap.4 の整合性（人づくりと環境づくり）を図る必要あり。
- 検証・評価は量的指標だけでなく、質的評価も重視すべき。
- 評価は年次よりも 5 年単位での成果を見た方が良い。

## 総評

- 策定ワーキングとの初の意見交換は有意義だった。
- 今後も分科会で継続的な意見交換を希望。
- 追加意見はメール等で受け付けることで、より前橋市に合った地域福祉計画にしていきたい。